

保護者の皆様へ

# 桃三校内研究便り No.2

令和元年12月25日

桃井第三小学校 研究部

## ＜研究主題＞ 「かしこい体 たくましい心」を育む指導法の工夫

2学期は運動会などを通して、子どもたちが活躍し、日頃の学習の成果を発揮することができました。様々な行事と並行して、校内では研究主題をもとに、体育科の研究授業とICT機器を活用した授業を実施しました。それぞれの授業の様子をお知らせします。

10月23日（水）1年1組 体育科 「多様な動きをつくる運動遊び」  
指導者 教諭 池本 泉

「わくわく！フープパーティー」という単元名で、フラフープを回す、転がすなどの動きに親しました。この学習で初めてフープを使う子もいましたが、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができました。自分で工夫したことを見んなに発表する「みてみてタイム」、やってみたい動きを試してみる「わくわくタイム」を設定することで、友達のよいところを見つけ合い、自分の動きに取り入れることができました。

また、学習カードで振り返りをすることによって、自分や友達の成長を知ることができました。



11月20日（水）梅組 体育科 体つくりの運動遊び 「Let's ボッチャ！」  
指導者 T1主任教諭 小林 佐紀子 T2教諭 小林 裕子  
T3教諭 川原 悠成 T4主任教諭 中村 恵

「5年生と一緒に、いつものボッチャをする」をめあてに授業を行いました。梅組の子どもたちは、いろいろな投げ方に挑戦したり、ボールの壁を探し、投げる位置を考えたりする姿が見られました。研究授業の後には、ふれあいの家の方や保護者の方ともボッチャで交流するなどいつもと違う人、違う場でもスポーツを楽しもうとする姿が見られました。

授業後、5年生からは、「梅組の子が上手でびっくりしました。」「梅組の子たちとゲームをすることで、梅組の事を知ることができて楽しかったです。」といった感想がありました。



12月4日（水）3年2組 体育科 器械運動 「跳び箱運動」  
指導者 教諭 清閑寺 由子

「開脚跳びや台上前転をやってみよう。」をめあてに二つの跳び箱の技に挑戦しました。音楽を使った準備運動で始まり、跳び箱運動につながる動きを楽しく行いました。跳び箱遊びを思う存分行い、経験したことをもとに跳び箱の技へとつなげていきました。

跳び箱の段数を変えたり、大きさを変えた跳び箱を用意したりと、いくつもの場を作り、跳び箱の苦手な子も「やってみよう」と思えるように場を工夫しました。子どもたちは思い思いの跳び箱に挑戦する姿が見られました。



12月19日（金）5年2組 社会科  
《ICTを活用した授業研究》 「これからの食糧生産とわたしたち」  
指導者 教諭 佐藤 慎一郎

日本の食糧生産、特に食料自給率や輸出入のバランスに関する問題について考える授業でした。「もし、食料が輸入できなくなってしまったら?」「輸入に頼りすぎることは、何が問題?」など、様々な資料をもとに、一人一台のタブレットでプレゼンテーションを作成し、クラスみんなの意見を共有しました。

手元の端末を使うことで、みんなの考えを簡単に共有することができ、活発な意見交換に繋がりました。

授業の最後には討論会を行い、日本の食糧生産の様々な問題について理解を深めることができました。

